

りゅうがく館だより

令和8年8月号



東野圭吾さん追悼コーナー

東野圭吾さんの追悼コーナーを設置しました。追悼コーナーの他にもまだまだ作品はあります。たくさんの素晴らしい作品を世に送り出してこられた、東野圭吾さんの魅力を存分に感じていただきたいです。



防災月間

9月1日は防災の日、8月30日～9月5日は防災週間、9月は防災月間です。みなさんは、もしもの時のために備えていますか？防災知識を深めるため、この機会に防災について見直してみませんか？



※講座紹介※

※日本舞踊隆柳流教室※

講師：隈元 康子先生

活動日：中央：第3水曜日

荒波：第2水曜日

19：00～21：00

踊りの練習を通して姿勢が良くなり、簡単な着付・所作も習得できます。



※「100年・たいむ」※

講師：我那覇 ルミ子先生

活動日：第1土曜日

14：00～16：00

人生100年時代を迎えて、心と体の健康のための情報・ストレッチ・ダンス等を学習します。



お知らせ

りゅうがく館図書室では、貸出中の本に予約をかけることができます。予約の本が返却されましたら、電話にてご連絡いたします。ご希望の方は、お気軽に職員までお声掛けください。

《一般書》

- 『13歳から考える畜産』（関根 佳恵/かもがわ出版）
- 『海を吸う／庭に接ぐ』（才谷 景／河出書房新社）
- 『海霧』（馳 星周/KADOKAWA）
- 『糖毒脳』（下村 健寿/ダイヤモンド社）
- 『プレゼント』（伊坂 幸太郎/新潮社）
- 『ママがもうこの世界にいらなくても 私の命の日記』（遠藤 和/小学館）
- 『じつはすごい！科学的に証明された本当のラジオ体操』（鈴木 大輔/アスコム）
- 『となりの筋トレ』（森沢 明夫/飛鳥新社）
- 『他人のために笑って、自分を泣かせてない？』（こぐに一/サンマーク出版）
- 『wellkのお菓子教室』（石原 寛史/家の光協会）
- 『隣の畑は青々と』（河崎 秋子/U-NEXT）
- 『裏切りの捜査線』（米澤 穂信/文藝春秋）
- 『闘牛の絆』（勢 隆二/アジア文化社）

他

《児童書》

- 『54字の物語 未来』（氏田 雄介/PHP研究所）
- 『おふろにいれて』（せな けいこ/ポプラ社）
- 『東京おしゃれ魔女ありす』（天川 栄人/小学館）
- 『君と恋する季節のなかで 意味がわかるとキュンとする140字』（蒼山 皆水/KADOKAWA）
- 『こんなにかわった！やさいくだものむかし・いま』（ほりかわ あきな/講談社）
- 『魔法のおいしいおうち実験教室』（まえママ/日本文芸社）
- 『おやすみレストラン』（misato/岩崎書店）
- 『じいじがおしえてくれたこと』（アンナ ウィルソン/ひさかたチャイルド）
- 『ぼくたちは、あらそうために生きるのか？』（山極 寿一/偕成社）
- 『いらっしゃいおまつりだ！』（山本 祐司/ほるぷ出版）
- 『まるっとわかる！日本の水産業 1』（勝川 俊雄/国土社）
- 『ワンダーキッド・レオ 1.2』（T.Z.レイトン/カンゼン）
- 『自由研究もエコで楽しく！ペットボトル・牛乳パックのかんたん工作』

（くるくるリサイクル工作研究会/メイツユニバーサルコンテンツ） 他

今月のおすすめ本

『子ども脳疲労』（成田 奈緒子/日本文芸社）

かつては「子どもはいつでも元気」という考え方が一般的でした。けれど現代の子どもたちは、情報量の増加、忙しいスケジュールによる睡眠不足、親の過干渉など、目に見えない負荷を日常的に受けています。無理にがんばらせるのではなく、脳を休ませることで、子どもは自分から動き出す——そのためのヒントが詰まった一冊です。



『キャリア教育にいきる+ 仕事発見！図鑑 1 教育の仕事』（玉置 崇/小峰書店）
幼稚園教諭、小学校教諭、工作キット開発、学校司書、教育系ユーチューバーといった、「教育」に関わる仕事を紹介しています。学校の先生や司書は小・中学生にとって身近な職業ですが、ふだんは見られない仕事の裏側や苦労している点を知ることで、職業としての魅力や大変さを考えるきっかけになるでしょう。

